

桜島の火山活動解説資料

福岡管区气象台
火山監視・情報センター
鹿児島地方气象台

南岳山頂火口では、10 月 3 日 16 時 45 分に爆発的噴火¹が発生し、噴煙が火口縁上 3,000 m まで上がりました。

昨日（3 日）と本日（4 日）に実施した電話による聞き取り調査及び、本日、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が行った降灰調査では、火口の北東から南東に位置する宮崎県宮崎市や鹿児島県鹿屋市などの広い範囲で降灰を確認しました。

昭和火口及び南岳山頂火口から 2 km 程度の範囲では、噴火に伴う弾道を描いて飛散する大きな噴石及び火砕流に警戒が必要です。

風下側では降灰及び風の影響を受ける小さな噴石（火山れき）に注意が必要です。

降雨時には土石流に注意が必要です。

○活動概況

・噴火の状況（図 1）

南岳山頂火口では、10 月 3 日 16 時 45 分に爆発的噴火が発生し、噴煙が火口縁上 3,000m まで上がりました。また、弾道を描いて飛散する大きな噴石が 4 合目（南岳山頂火口から 1,300～1,700 m）まで達しました。南岳山頂火口で爆発的噴火が発生したのは 2009 年 2 月 22 日以来です。この噴火に伴い、鹿児島地方气象台（鹿児島市東郡元町）では爆発音や体感空振を観測しました。

・降灰等の状況（図 2～4）

昨日（3 日）と本日（4 日）に実施した電話による聞き取り調査及び、本日、気象庁機動調査班（JMA-MOT）が行った降灰調査では、火口の北東から南東に位置する宮崎県宮崎市や鹿児島県鹿屋市などの広い範囲で降灰を確認しました。また、桜島の東側の黒神小学校（黒神町）では火山灰に混じって直径 5 mm 程度の火山れきを確認しました。

1）桜島では、爆発地震を伴い、爆発音、体感空振、噴石の火口外への飛散、または气象台や島内の空振計で一定基準以上の空振のいずれかを観測した場合に爆発的噴火としています。



図 1 桜島 10 月 3 日 16 時 45 分の爆発的噴火（鹿児島地方気象台より撮影）
・噴煙が火口縁上 3,000m まで上がりました。
・大きな噴石が 4 合目（南岳山頂火口から 1,300～1,700m）まで達しました。



図 2 桜島 黒神町の火山れき



図 3 桜島 垂水市牛根麓付近の降灰の様子

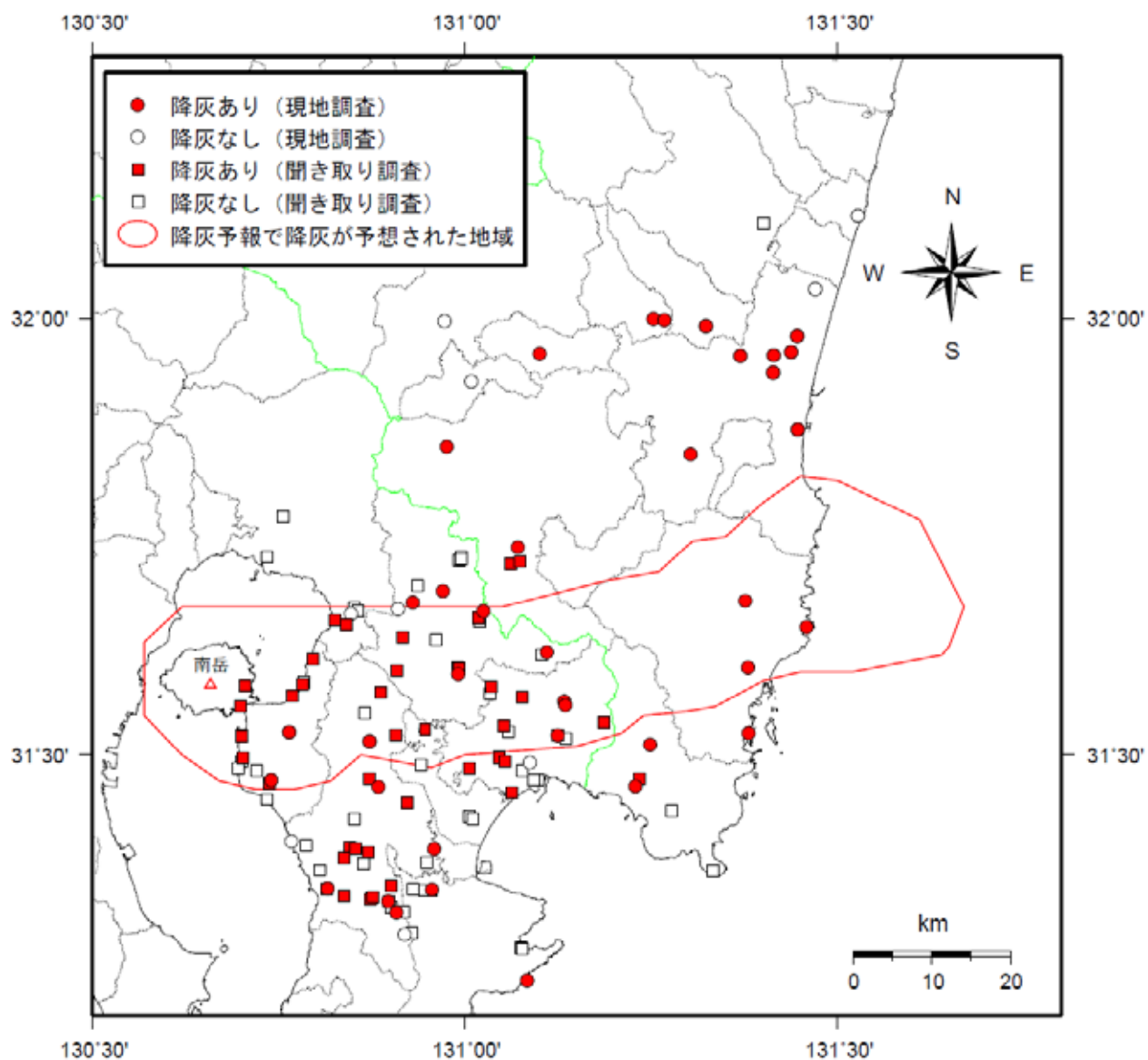


図4 桜島 10月3日16時45分の噴火に伴う降灰分布と降灰予報で降灰が予想された地域